

都立公園等指定管理者評価委員会（第6回）

次 第

令和元年8月9日（金曜日）

13:00～16:00

新宿NSビル 3-H会議室

1 開会

2 議事

(1) 説明（事務局）

(2) 事業者の財務状況について

(3) 各施設の評価検討及び決定

- ① 都市部の公園・東部グループ【アメニス東部地区グループ】
- ② 都市部の公園・南部グループ【東京南部パークスグループ】
- ③ 都市部の公園・北部グループ【公益財団法人東京都公園協会】
- ④ 武蔵野の公園グループ【西武・武蔵野パートナーズ】
- ⑤ 多摩部の公園グループ【西武・多摩部の公園パートナーズ】
- ⑥ 狭山丘陵グループ【西武・狭山丘陵パートナーズ】
- ⑦ 多摩丘陵グループ【公益財団法人東京都公園協会】
- ⑧ 大神山公園【公益財団法人東京都公園協会】
- ⑨ 青山葬儀所【日比谷花壇グループ】

休憩（20分）

- ⑩ 防災公園グループ【公益財団法人東京都公園協会】
- ⑪ 文化財庭園グループ【公益財団法人東京都公園協会】
- ⑫ 神代植物公園【公益財団法人東京都公園協会】
- ⑬ 夢の島公園・夢の島熱帯植物館【アメニス夢の島グループ】
- ⑭ 潮風公園・台場公園【東京臨海副都心グループ】
- ⑮ 横網町公園【公益財団法人東京都慰霊協会】
- ⑯ 東京臨海広域防災公園【西武造園(株)・(株)NHKアート共同体】
- ⑰ 都立動物園【公益財団法人東京動物園協会】
- ⑱ 東京都霊園【公益財団法人東京都公園協会】
- ⑲ 瑞江葬儀所【公益財団法人東京都公園協会】

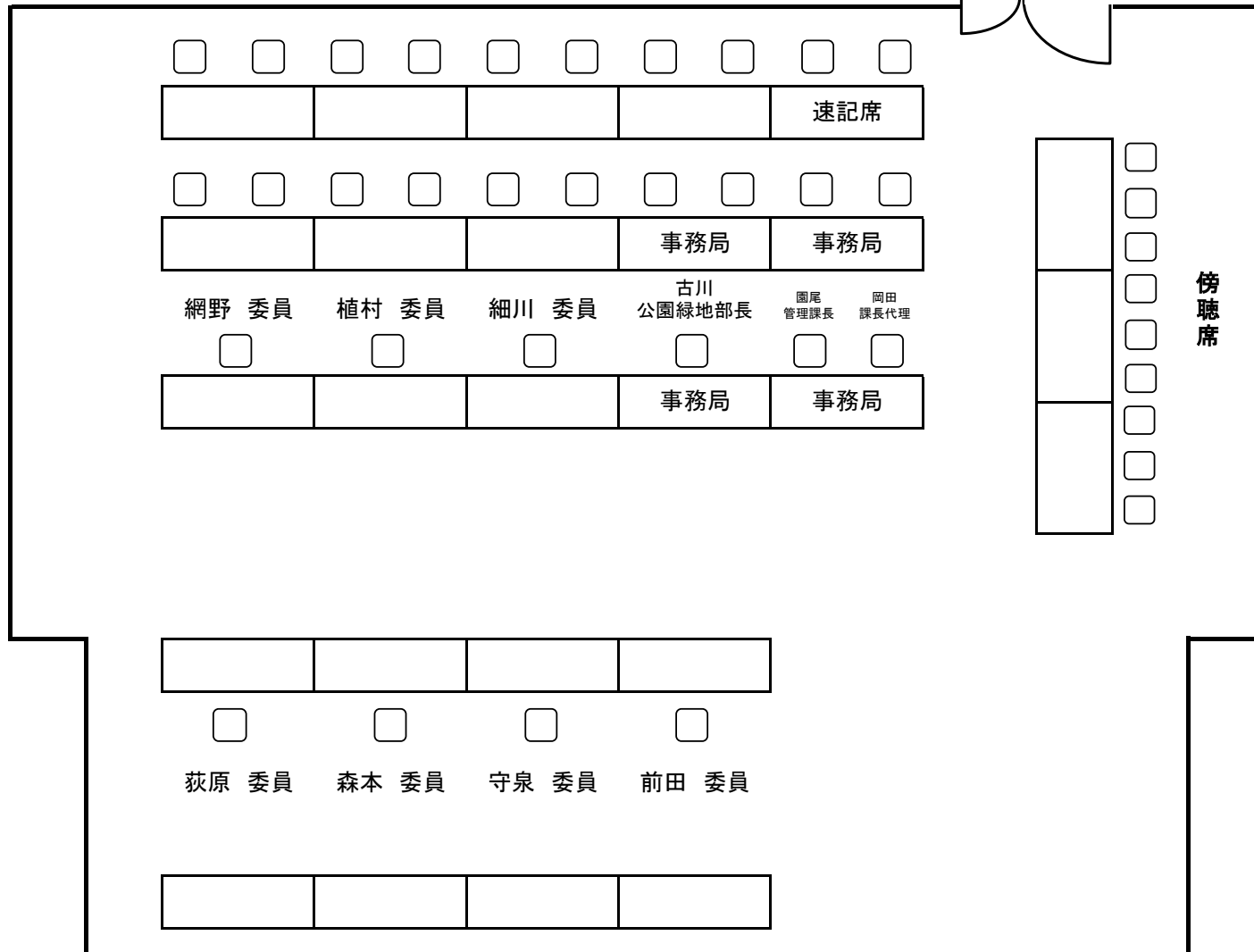
3 まとめ

4 事務局連絡事項、閉会

都立公園等指定管理者評価委員会(第6回)

令和元年8月9日(金曜日)
新宿NSビル 3-H会議室

【出入口】



平成30年度 指定管理者管理運営状況評価 一覧表 (二次評価案)

No.	グループ名【指定管理者名】				平成30年度		過年度総合評価				指定期間	
	選定	H30一次評価点数区分	施設名		点数	一次	二次	29	28	27		26
1	都市部の公園・東部グループ【アムニス東部地区グループ】											
	公募	S = 55	A+ = 52	A = 37	1 猿江恩賜公園	47	A	A	A	A	A	A
					2 亀戸中央公園	48	A	A	A	A	A	A
					3 尾久の原公園	52	A+	A+	A	A	A	A
					4 東総瀬公園	50	A	A	A	A+	S	S
					5 中川公園	48	A	A	A	A	A	A
					6 大島小松川公園	47	A	A	A	A	A	A
7 宇喜田公園					46	A	A	A	A	A	A	
2	都市部の公園・南部グループ【東京南部パークスグループ】											
	公募	S = 55	A+ = 52	A = 37	8 日比谷公園	56	S	S	A+	A+	S	S
					9 芝公園	46	A	A	A	A	A	A
					10 青山公園	44	A	A	A	A	A	A
					11 林試の森公園	50	A	A	A	A	A	A
					12 蘆花恒春園	51	A	A	A	A	A	S
					13 祖師谷公園	50	A	A	A	A	A	A
14 日比谷公園大音楽堂					43	A	A	A	A	A	A	
3	都市部の公園・北部グループ【(公財)東京都公園協会】											
	公募	S = 55	A+ = 52	A = 37	15 戸山公園	49	A	A	A	A	S	S
					16 善福寺公園	47	A	A	A	A	A	S
					17 浮間公園	48	A	A	A	A	A	A
					18 赤塚公園	49	A	A	A	A	A	A
					19 石神井公園	48	A	A	A	A	S	S
					20 大泉中央公園	50	A	A	A	A	A	A
4					武蔵野の公園グループ【西武・武蔵野パートナーズ】							
	公募	S = 55	A+ = 52	A = 37	21 武蔵野公園	50	A	A	A	A	A	A
					22 浅間山公園	54	A+	A+	A+	S	A	
					23 野川公園	54	A+	A+	A+	A	A	A
					24 狹山・境緑道	47	A	A	A	A	A	A
					25 玉川上水緑道	43	A	A	A	A	A	A
					26 武蔵国分寺公園	55	S	S	A+	A+	S	S
27 東伏見公園					40	A	A	A	A	A	A	
28 六仙公園	43	A	A	A	A	A	A					
5	多摩部の公園グループ【西武・多摩部の公園パートナーズ】											
	公募	S = 55	A+ = 52	A = 37	29 陵南公園	57	S	S	A+	A	A	A
					30 小宮公園	54	A+	A+	A	A	A	
					31 瀬山公園	45	A	A	A	A	A	A
32 大戸緑地					51	A	A	A	A	A	A	
6	狭山丘陵グループ【西武・狭山丘陵パートナーズ】											
	公募	S = 55	A+ = 52	A = 37	33 狭山公園	51	A	A	A	A+	S	A
					34 八国山緑地	48	A	A	A	A	A	A
					35 東大和公園	45	A	A	A	A	A	A
					36 野山北・六道山公園	56	S	S	S	S	S	S
37 中藤公園					41	A	A	A	A	-	-	
7	多摩丘陵グループ【(公財)東京都公園協会】											
	公募	S = 55	A+ = 52	A = 37	38 長沼公園	47	A	A	A	A	A	A
					39 平山城址公園	45	A	A	A	A	A	A
					40 小山田緑地	51	A	A	A	A	A	A
					41 小山内裏公園	52	A+	A+	A+	S	S	S
42 桜ヶ丘公園					53	A+	A+	A	A+	A	A	
8	大神山公園【(公財)東京都公園協会】											
公募	S = 55	A+ = 52	A = 37	43 大神山公園	52	A+	A+	A	A	A	A	
9	青山葬儀所【日比谷花壇グループ】											
公募	S = 51	A+ = 48	A = 34	44 青山葬儀所	45	A	A	A+	S	A	A	

	年度								
	H30一次	H30二次	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23
S	6	4	4	26	29	26	14	4	
A+	13	14	17	69	66	69	78	86	
A	75	76	73						
B	0	0	0	0	0	0	2	4	
計	94	94	94	95	95	95	94	94	

No.	グループ名【指定管理者名】				平成30年度		過年度総合評価				指定期間				
	選定	H30一次評価点数区分	施設名		点数	一次	二次	29	28	27		26			
10	防災公園グループ【(公財)東京都公園協会】														
	特命	S = 58	A+ = 54	A = 38	45 東白鷺公園	47	A	A	A	A	A	A			
					46 木場公園	47	A	A	A	A	S	S			
					47 砦公園	51	A	A	A	A	A	S			
					48 駒沢オリンピック公園	45	A	A	A	A	A	S			
					49 代々木公園	49	A	A	A	A	S	S			
					50 善福寺川緑地	47	A	A	A	A	A	A			
					51 和田堀公園	43	A	A	A	A	A	A			
					52 汐入公園	48	A	A	A	A	A	A			
					53 城北中央公園	51	A	A	A	A	A	A			
					54 光が丘公園	48	A	A	A	A	A	A			
					55 倉人公園	48	A	A	A	A	A	A			
					56 水元公園	48	A	A	A	A	A	S			
					57 篠崎公園	45	A	A	A	A	A	A			
					58 葛西臨海公園	58	S	S	A+	A+	A	A			
					59 武蔵野中央公園	52	A	A	A	A	A	A			
60 府中の森公園					53	A	A	A	A	A	A				
11	文化財庭園グループ【(公財)東京都公園協会】														
	特命	S = 60	A+ = 57	A = 40	66 浜離宮恩賜庭園	60	S	S	S	A+	S	S			
					67 旧芝離宮恩賜庭園	53	A	A	A	A	A	A			
					68 小石川後楽園	51	A	A	A	A	S	S			
					69 六義園	57	A+	A+	S	S	S	S			
					70 旧岩崎邸庭園	50	A	A	A+	A+	S	S			
					71 向島百花園	55	A	A	A	A	A	A			
72 清澄庭園					58	A+	A+	A	A	A	A				
73 旧古河庭園	56	A	A	A	A	S	S								
74 殿ヶ谷戸庭園	56	A	A	A	A	S	A								
12	神代植物公園【(公財)東京都公園協会】														
	特命	S = 64	A+ = 60	A = 43	75 神代植物公園	62	A+	A+	A	A	A				
13	夢の島公園・夢の島熱帯植物館【アムニス夢の島グループ】														
	特命	S = 55	A+ = 52	A = 37	76 夢の島公園	46	A	A	A	A	A				
14	潮風公園・台場公園【東京臨海副都心グループ】														
	特命	S = 56	A+ = 53	A = 37	78 潮風公園	47	A	A	A	A	A				
					79 台場公園	46	A	A	A	A	A				
80 横網町公園					43	A	A	A	A	S	A				
15	横網町公園【(公財)東京都公園協会】														
	特命	S = 56	A+ = 53	A = 37	80 横網町公園	43	A	A	A	A	S				
16	東京臨海広域防災公園【西武造園(株)・NHKアート共同体】														
	特命	S = 56	A+ = 53	A = 37	81 東京臨海広域防災公園	50	A	A	A	A	A				
17	都立動物園【(公財)東京都公園協会】														
	特命	S = 59	A+ = 55	A = 39	82 恩賜上野動物園	46	A	A	A	A	S	S			
					83 多摩動物公園	47	A	A	A	A	S	S			
					84 葛西臨海水族園	53	A	A	A+	A	S	S			
					85 井の頭自然文化園	49	A	A	A+	A	S	A			
86 青山霊園					43	A	A	A	A+	A	A				
18	都立霊園【(公財)東京都公園協会】														
	特命	S = 48	A+ = 45	A = 32	87 谷中霊園	43	A	A	A+	A+	A	A			
					88 雑司ヶ谷霊園	43	A	A	A	A	A	S			
					89 染井霊園	43	A	A	A	A	A	A			
					90 八柱霊園	41	A	A	A	A+	S	S			
					91 八王子霊園	45	A+	A+	A+	A+	A	A			
					92 多磨霊園	41	A	A	A	A	S	S			
					93 小平霊園	43	A	A	A	A	S	A			
					19	瑞江葬儀所【(公財)東京都公園協会】									
特命						S = 43	A+ = 40	A = 29	94 瑞江葬儀所	39	A	A	A+	A+	A

都立公園等指定管理者評価委員会

二次評価シート(案)

グループ名	都市部の公園・東部グループ
指定管理者名	アメニス東部地区グループ

No.	施設名	一次評価	二次評価（案）	
			評価内容	評価
1	猿江恩賜公園	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全公園で園路際、樹林地、広場などエリア毎に機能剪定を行うことで、年々快適かつ安全な環境づくりに成果を上げつつある。今後も継続されたい。 ・尾久の原公園では、毎日時間を変えてペットマナー巡回を続け、ノーリードのペットの減少に大きな効果を上げるなど施設の適正な管理に取り組んだ。 ・大島小松川公園では、六価クロム汚染に対して毎日の点検や水洗い等の即時対応を行い、都へ迅速に報告するなど、安全・安心な公園づくりに努めた。 ・中川公園では、広場を排他独占的に利用している団体に対し、一般来園者優先の原則を確認するなど、意見・要望に対して迅速に対応した。 ・大島小松川公園では、委託業者の草刈機による飛石で民家の窓ガラスを破損する事故があった。飛石事故の再発防止を徹底されたい。（事故後は、安全対策を盛り込んだ作業手順書等を作業者と共有するなど、再発防止策を策定している。） <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタープリター号について、プログラムの充実など更なる工夫を重ねるとともに、地域マルシェなどと連動した東部グループならではの取組を期待する。 ・猿江恩賜公園では、ミニコンサート等を新たに組み入れ「チューリップフェスタ」を開催し、参加者は3日間で650人となった。 ・亀戸中央公園では、「親子で楽しむ夜の観察会」「こいのぼりイベント」「ドングリまつり」「サザンカガイドツアー」など様々な自主事業を展開し、公園の魅力向上と利用促進を図った。 ・尾久の原公園では、自主事業の取組として、社会教育団体や荒川区と連携し、子供向けワークショップを展開した。また、社会教育団体のほか、近隣大学の生徒や消防署の協力も得て、ペット防災をテーマにした「動物愛護フェスタ」を開催した。さらに、これらのイベントと同日に地域の商店と協働で「プチマルシェ」を開催することで、相乗効果により公園の賑わいを創出し、地域の活性化につなげた。プチマルシェは年4回開催し地域に定着を図り、木々の間に店を並べるなど公園の魅力を活かしている点でモデルとなるイベントである。このような地域コミュニティを育成する取組が他の公園でも展開されることを期待する。 ・東綾瀬公園では、足立区特別支援学校の生徒の職場体験を年間17回受け入れ、協力して園内の清掃活動を行うなど、教育機関等との連携を深めた。 ・中川公園では、自主事業の取組として「森の絵本」を実施した。親子のふれあいの場として貴重な空間を提供するとともに、公園の利用促進につながっている。 ・複数の公園でガーデナーによるボランティアの育成を進めており、ボランティアとの協働による公園の景観づくりに高い効果が期待できる。特に、宇喜田公園では、ガーデナーの指導によりハーブボランティアが主体的にハーブ教室を実施するようになるなど、ボランティアの育成に尽力するとともに、多くの人を楽しめるハーブガーデンとして人の交流を生み出し、公園の存在意義を高めた。 ・尾久の原公園や中川公園では、「七夕飾り」や「ペットマナーキャラバン」といった従来からのイベントだけでなく、公園の特性を踏まえた魅力向上のための取組が実施されることを期待する。 	A
2	亀戸中央公園	A		A
3	尾久の原公園	A+		A+
4	東綾瀬公園	A		A
5	中川公園	A		A
6	大島小松川公園	A		A
7	宇喜田公園	A		A

グループ名	都市部の公園・南部グループ
指定管理者名	東京南部パークスグループ

No.	施設名	一次評価	二次評価（案）	
			評価内容	評価
8	日比谷公園	S	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日比谷公園での江戸系ツツジや首かけイチョウなどの歴史的樹木の後継樹育成、芝公園での林床整理や実生木処理による丸山古墳の輪郭の明確化、蘆花恒春園でのモウソウチク林床整備など、歴史と文化を掘り起こした公園資産の維持保全を目指す取組を行った。 ・日比谷公園では、警察と連携し、園内でデモ行為をする団体を指導、退去させた。また、多数の占用許可イベントが開催される中、事前の打ち合わせを綿密に行い、ルール違反の未然防止に努め、一般来園者が安全で快適に利用できる環境確保に取り組んだ。パークミーティング参加企業等の協力を得るとともに、外周部分の緑化の工夫や園路の改修、既存建物の補修修景や活用をするなど、公園施設そのものの価値を高めるための基盤整備と維持管理にも力を入れ、首都東京を代表する公園としてレベルアップされたい。 ・林試の森公園では、大雨時の出水対策（土壌設置）や土砂流出対策（側溝設置）など、周辺への被害防止に取り組んだ。 ・蘆花恒春園の花の丘では魅力的な整備ができています。今後も適正な維持管理により魅力をさらに高められたい。 ・芝公園では、委託業者による高所作業車での剪定作業中に、剪定枝葉を地上部に落とし、通行人に怪我を負わせる事故が発生した。剪定作業中の事故の再発防止を徹底されたい。（事故後は安全対策の再確認と日々のミーティング及び作業中の安全確認の徹底を実施している。） 	S
9	芝公園	A	<p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加型の話し合いを重ねて企業や地域団体の参加を実現させ、よりスケールの大きな企画を実現させている。 ・日比谷公園では、日比谷エリアの関係団体・企業に参加を呼びかけ、パークミーティングを開催し、公園の現状や取組を紹介するとともに、イベントでの連携や地域コミュニティを活性化させるCSR等について意見交換を行い、公園を核とした今後の地域連携の発展に向けて一定の理解を得た。日比谷公園の可能性は緒に就いたばかりでありパークミーティングなどを通して大きく発展することを期待する。また、野外音楽堂と連携した「日比谷115th & 野音95th Anniversary Events」、「日比谷大江戸まつり」、「SHIBAFU DE CAFE」など、公園本来のポテンシャルを活かしたイベントは、公園の魅力向上を図るとともに利用価値を多角的に高め、日比谷ブランドを内外にアピールするものであり、評価できる。さらに、野外大音楽堂の改修工事に合わせ、周辺の施設の修繕や剪定を行うなど、東京都の施策に積極的に参加・協力を行った点について評価できる。 ・芝公園の歴史的な面白さを広く発信できるよう、新たに実施した歴史ガイドツアーを発展されたい。 	A
10	青山公園	A	<p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加型の話し合いを重ねて企業や地域団体の参加を実現させ、よりスケールの大きな企画を実現させている。 ・日比谷公園では、日比谷エリアの関係団体・企業に参加を呼びかけ、パークミーティングを開催し、公園の現状や取組を紹介するとともに、イベントでの連携や地域コミュニティを活性化させるCSR等について意見交換を行い、公園を核とした今後の地域連携の発展に向けて一定の理解を得た。日比谷公園の可能性は緒に就いたばかりでありパークミーティングなどを通して大きく発展することを期待する。また、野外音楽堂と連携した「日比谷115th & 野音95th Anniversary Events」、「日比谷大江戸まつり」、「SHIBAFU DE CAFE」など、公園本来のポテンシャルを活かしたイベントは、公園の魅力向上を図るとともに利用価値を多角的に高め、日比谷ブランドを内外にアピールするものであり、評価できる。さらに、野外大音楽堂の改修工事に合わせ、周辺の施設の修繕や剪定を行うなど、東京都の施策に積極的に参加・協力を行った点について評価できる。 ・芝公園の歴史的な面白さを広く発信できるよう、新たに実施した歴史ガイドツアーを発展されたい。 	A
11	林試の森公園	A	<p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加型の話し合いを重ねて企業や地域団体の参加を実現させ、よりスケールの大きな企画を実現させている。 ・日比谷公園では、日比谷エリアの関係団体・企業に参加を呼びかけ、パークミーティングを開催し、公園の現状や取組を紹介するとともに、イベントでの連携や地域コミュニティを活性化させるCSR等について意見交換を行い、公園を核とした今後の地域連携の発展に向けて一定の理解を得た。日比谷公園の可能性は緒に就いたばかりでありパークミーティングなどを通して大きく発展することを期待する。また、野外音楽堂と連携した「日比谷115th & 野音95th Anniversary Events」、「日比谷大江戸まつり」、「SHIBAFU DE CAFE」など、公園本来のポテンシャルを活かしたイベントは、公園の魅力向上を図るとともに利用価値を多角的に高め、日比谷ブランドを内外にアピールするものであり、評価できる。さらに、野外大音楽堂の改修工事に合わせ、周辺の施設の修繕や剪定を行うなど、東京都の施策に積極的に参加・協力を行った点について評価できる。 ・芝公園の歴史的な面白さを広く発信できるよう、新たに実施した歴史ガイドツアーを発展されたい。 	A
12	蘆花恒春園	A	<ul style="list-style-type: none"> ・青山公園で実施した「あおぞら防災訓練」では、地元保育園と連携するなど、利用者の防災意識の向上を図った。クイズの実施やマスコットキャラクターの活用などの工夫により、より親しみやすい訓練とし都民協働を推進した点について評価できる。今後は立地特性から新たな可能性を引き出されたい。 ・林試の森公園では、地域のボランティア団体等と連携して「林試の森フェスタ」を開催した。200ヶ所以上にポスターを掲示するなど広報に力を入れた結果、春秋併せて過去最高の48,000人の動員を記録し、地域連携の強化と公園の賑わい創出につながった。 ・蘆花恒春園では、徳富蘆花生誕150周年を記念して年間を通じ「かやぶきコンサート」、「企画展」、「蘆花文学セミナー」などを実施し、積極的に地域の活性化・公園の魅力向上に取り組んだ。 	A
13	祖師谷公園	A	<ul style="list-style-type: none"> ・祖師谷公園では、ボランティア団体と連携して、園内に新設した樹名板にQRコードを付け、web上の解説を閲覧できるように工夫するなど、公園の魅力向上を図った。 ・日比谷公園大音楽堂では、都が実施する野外大音楽堂の改修工事に伴う受付休止の周知や利用者への案内など、指定管理者が自ら丁寧かつ適切な対応を行った結果、利用者の理解を得ることができ、使用制限に関する苦情が発生しなかった。 	A
14	日比谷公園大音楽堂	A		A

グループ名	都市部の公園・北部グループ
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価（案）	
			評価内容	評価
15	戸山公園	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸山公園では、地元自治会と連携した防災・炊き出し訓練、地域連携防災訓練を実施した。また、消防署、近隣日本語学校等と連携し、外国人対象の防災訓練や、発災時の公園の役割についてのPR、外国語対応防災パンフレットの作成を行った。 ・石神井公園での林床整備によるキンラン・ギンランの自生地保護、大泉中央公園でのカントウタンポポの保全及び園内の「ちょうの里」における選択除草による食草の生育促進など、希少動植物の保全に取り組んでいる。 ・善福寺公園のトイレ改革やサービスセンターの工夫など、サービス向上に向けた取組について評価できる。トイレマップを見やすいように大きくする等の改善や、入りやすいサービスセンターにするための工夫を進められた。 	A
16	善福寺公園	A	<ul style="list-style-type: none"> ・浮間公園では、入口広場の放置自転車対策において4言語（日、英、中、韓）による注意喚起の掲示や継続的な巡回を行ったことにより、平日の駐輪台数がほぼ0台に減少した。 ・赤塚公園では、枯損木の処理が遅れたため倒木が発生し、隣接する区立施設のフェンスを破損する事故等が発生した。今後も再発防止を徹底されたい。（事故後は、日常的な樹木の点検や樹木医による診断を行い、枯損木処理や剪定等を継続的に実施し再発防止に努めている。） ・石神井公園では、集中豪雨等による倒木被害が発生した際、全体被害状況の把握に時間を要したため、初期報告が遅れる事態が発生した。今後は速やかに報告をされたい。 	A
17	浮間公園	A	<p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各公園のフィールドミュージアムガイドがよくできている。大泉中央公園では平成30年度にホームページ上で公開されているが、他の公園についても順次公開するなど活用が望まれる。 ・戸山公園を除く各公園が地域の公園として利用者の日常圏に位置し、受動的な利用がなされている。地域活性化の中心に公園を位置づける方策について検討されたい。 ・北部グループ全公園で「第6回クイズスタンプラリー 都市公園・紅葉散歩」を実施した。スタンプラリーの台紙を工夫したことに加え、広域的な広報を行ったことにより、景品交換数が昨年度比26%増加し、6公園すべてを巡った参加者数が70人（昨年度38人）に増加するなど、公園の利用促進を図った。 	A
18	赤塚公園	A	<ul style="list-style-type: none"> ・戸山公園では、「箱根山つつじ祭り」、「戸山荘観光ガイド」、「内藤とうがらしプロジェクト」など、戸山荘の面影が残る箱根山を歴史資産として活用するだけでなく、地域の歴史や文化を丁寧に掘り起こし、情報の発信に努めた。また、つつじ祭りでの野外で行うお茶会（野点）のような、他団体の協力による有償サービスの提供は、公園の楽しみを広げるものとして評価できる。他の公園でも、地域参加の出店が並ぶような企画になると更に公園の楽しみが広がると考える。戸山公園は観光利用を含む公園であり、10年ほどの間に知名度が上がり戸山地区の顔的存在になったが、学校等を含む地域との連携が課題になっている。地元自治体と連携した防災訓練は新しい利用者層確保の良いきっかけになるので継続実施を期待する。 ・赤塚公園では、年末クリーンアップ活動期間を拡大し、一般参加者を募り、ボランティア団体による公園の楽しみ方の紹介も行い、新規ボランティアの獲得につなげた。 	A
19	石神井公園	A		A
20	大泉中央公園	A		A

グループ名	武蔵野の公園グループ
指定管理者名	西武・武蔵野パートナーズ

No.	施設名	一次評価	二次評価（案）	
			評価内容	評価
21	武蔵野公園	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 武蔵野公園では、野球場グラウンドの改良補修工事により施設利用を拡大し、サービスを向上させた。 浅間山公園では、台風被害の復旧作業において、市民団体等との協働により迅速かつ効果的に対応した。 野川公園では、17都立公園で同時開催した「野鳥観察マナーアップキャンペーン」において中核となって取り組み、市民団体の協力も得て普及啓発を効果的に実施し、公園の適正管理につなげた。また、動植物のモニタリング調査や市民団体との情報交換を継続実施し、湿地再生を進め、アカガエル等の希少種の保全に積極的に取り組んだ。 武蔵国分寺公園では、「武蔵の池再生プロジェクト」の一環として埋土種子再生の取組を拡大するなど、水生植物の再生と生物多様性の向上に取り組んだ。 東伏見公園では、維持管理作業において不適切に設置された規制帯により自転車が転倒する第三者事故があった。再発防止を徹底されたい。（事故後は、「規制帯標準設置マニュアル」の作成や安全管理体制フローの見直し等を行った。） <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ全体で、都民協働による公園づくりが実践されている。市民の「あったらいいな」を引き出し、参加者の主体性や創造性、地域連携を育成するとともに、地域の人々が自然と公園に足を運ぶ仕組みとしてイベントやボランティアを実施するなど、極めて質の高い管理運営が行われている。また、イベント名の工夫や効果的な広報により、参加しなくなるような魅力的な企画を実現し、利用者の満足度を高めている。全国の公園の参考にしてほしい事例である。今後、公園を拠点とした地域連携の輪をさらに広げられたい。 環境学習プログラムが一過性の取組ではなく、地域での縁にかかわる人材育成につながる内容となっており、協働による公園管理の質の向上に反映されている。 浅間山公園では、大学や市民団体等と協働で改訂した「浅間山公園保全管理ガイドライン」を冊子化した。これにより、多様な主体が共通目標を持って保全活動に取り組んでいることに加え、自然保護団体が視察に来るなど、保全活動の普及活動に大いに貢献しており、協働型保全活動のモデルケースとして発信できる。また、「浅間山を考える会」と共にキスゲフェスティバルを開催した。保全管理の成果として雑木林の環境が改善されムサシノキスゲが増加したことで、新聞等多くの広告媒体に掲載され、11,761人もの参加者を得た。 武蔵野公園では、綿密な調整により「はけのおいしい朝市」への出店数が過去最多となり、参加者数も増加した。また、武蔵国分寺公園では、地元ババグループによる企画「ビクニックヘヴン」、地元ママグループによる企画「ぶっぶフェス！2018」、多世代交流を促すカフェイベント「Sunday Park Cafe」を継続開催し参加者が拡大したほか、地域の魅力発信イベント「てのわ市」を地元作家グループと共に初開催した結果、全体で延べ参加者19,252人、出店者185組となった。 野川公園では、アメリカンスクールのボーイスカウト団体によるボランティア活動を受け入れ、2か国語表記の看板を設置したほか、通年で多数の教育機関等の活動を受け入れ、連携を促進した。また、初開講の「キッズレンジャースクール」や「親子スポーツ教室」「むさしのカレッジ」「森の地図スタンプラリー」など様々な切り口で公園の魅力を紹介し、利用者満足度を高めた。 武蔵国分寺公園では、パークコーディネーターとパークレンジャーが地域のニーズに合う企画を練り、親子で楽しめる「あそぶの森」を継続実施した。昨年同時期のプログラムの2倍の参加者を得ることができ、公園の賑わいを創出した。また、パークコーディネーターが地域ニーズに応じて多様な世代にボランティア活動の楽しさを提供した。教育機関等と連携し、延べ1,235人を受け入れ、ボランティアを通じて公園の魅力を伝えた。 六仙公園では、地域産業や伝統とともに公園の魅力も広く周知する「麦の収穫祭～東久留米まつり～」を開催し、約2,000人が参加した。 	A
22	浅間山公園	A+		A+
23	野川公園	A+		A+
24	狭山・境緑道	A		A
25	玉川上水緑道	A		A
26	武蔵国分寺公園	S		S
27	東伏見公園	A		A
28	六仙公園	A		A

グループ名	多摩部の公園グループ
指定管理者名	西武・多摩部の公園パートナーズ

No.	施設名	一次評価	二次評価（案）	
			評価内容	評価
29	陵南公園	S	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陵南公園では、全自動芝刈機により日中の整備日が削減されたことで利用件数が前年度比62件増加となり、利用促進につながった。また、じゃぶじゃぶ池の開放期間を20日（約1.5倍）延長し、サービス向上に努める一方、池に生息するヤマアカガエルの卵塊約50個以上を、池の利用前に全て回収、一時保護し、池の運用終了後に池に戻すことで保全に努めた。さらに、高尾警察との連携により、公園でのテロを想定した対策訓練を初実施し、テロ行為への意識を高めるとともにスタッフが迅速に対応できる体制づくりに取り組んだ。 ・小宮公園では、93本の萌芽更新を実施。計画的に雑木林を若返らせることで生物多様性を維持し、環境教育にも活用した。また、特定外来種ガビチョウの巣に偽卵を置く先進的取組を行い、4巣のうち3巣で防除に成功した。 ・滝山公園では、土砂流出対策としてフレコンバッグを追加設置したほか、チップ敷設により坂道のすべり止め及び遺構保護を行うなど、丘陵地公園の課題解決を図った。 ・大戸緑地では、徹底した調査をもとに明るい雑木林計画を策定し、現場に合った保全活動を実施した。 ・小宮公園では、スタッフが近隣商業施設の駐車場を、規定時間を超えて利用しトラブルとなった。様々な取組で成果を上げていても、ひとたびコンプライアンス違反があれば公園の施設の管理者としての信頼を大きく失うことを十分に認識し、公園外の行動についてもコンプライアンス向上を図られたい。 	S
30	小宮公園	A+	<p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全、自然体験、ガーデニングなどの専門性と市民参加のノウハウを併せ持つスタッフの育成に力を入れていることで、各公園の参加型プログラムの熟度が上がってきている。参加協力する市民と「目指す公園の姿」を共有する仕掛けを丁寧に行っており、ボランティアの自立性、熱意、満足度を高めることに成功している。 ・デザインに対して高い意識を持つことで、印刷物やディスプレイが現場に即した楽しく美しくわかりやすいものとなっている。これにより、多くの市民がプログラムに参加したり、公園の自然環境を知ってもらったりすることにつながっている。 ・陵南公園では、地元自治体や地域関係者等と連携し、開園50周年記念イベント「こもれびピクニック」を開催した。夜には初めて「Ryonan Picnic Cinema」を実施するなど、参加してみたいと思わせる魅力的な企画により好評を得た。公園主催イベントとしては過去最高の5,633人が参加し、多くの人に公園の魅力や、公園への愛着や親しみを育んだ。また、市民の思いを形にし、地域の作家やアーティストと共に「春の日マルシェ」を初開催し、1,570人の参加者を得た。こうした様々な取組により、利用者のニーズに着実に応えている。 ・小宮公園では、「四季＊はなウィーク」を年4回開催し、「花めぐりワードラリー」や、新たに公園ボランティア「どんぐり会野草グループ」と協働で野草観察会も実施した。延べ1,755人の参加者に公園の豊かな自然を体感する機会を提供した。また、雑木林ホールを地域の環境教育拠点として大いに活用し、特別展では大型パネル展示や生体展示等を行ったほか、常設展では哺乳類の剥製を展示するなど、公園の魅力を上させた。さらに、レンジャーが地元小学校の総合学習にプログラムを提供するなど、子供たちにとって自然とふれあう貴重な体験の場となっている。 ・滝山公園では、2種類の公園マップをリニューアルした。NPO団体との協働による「滝山城攻めマップ」は、八王子市開発のARアプリとも連動して解説を充実させた。公園を効果的にアピールし、利用を促進している。 ・大戸緑地では、地域団体等による公園懇談会のニーズに応え、プログラムを更に充実させて「あつまれ！森キッズ」を実施し、946人の参加者を得た。 	A+
31	滝山公園	A	<p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザインに対して高い意識を持つことで、印刷物やディスプレイが現場に即した楽しく美しくわかりやすいものとなっている。これにより、多くの市民がプログラムに参加したり、公園の自然環境を知ってもらったりすることにつながっている。 ・陵南公園では、地元自治体や地域関係者等と連携し、開園50周年記念イベント「こもれびピクニック」を開催した。夜には初めて「Ryonan Picnic Cinema」を実施するなど、参加してみたいと思わせる魅力的な企画により好評を得た。公園主催イベントとしては過去最高の5,633人が参加し、多くの人に公園の魅力や、公園への愛着や親しみを育んだ。また、市民の思いを形にし、地域の作家やアーティストと共に「春の日マルシェ」を初開催し、1,570人の参加者を得た。こうした様々な取組により、利用者のニーズに着実に応えている。 ・小宮公園では、「四季＊はなウィーク」を年4回開催し、「花めぐりワードラリー」や、新たに公園ボランティア「どんぐり会野草グループ」と協働で野草観察会も実施した。延べ1,755人の参加者に公園の豊かな自然を体感する機会を提供した。また、雑木林ホールを地域の環境教育拠点として大いに活用し、特別展では大型パネル展示や生体展示等を行ったほか、常設展では哺乳類の剥製を展示するなど、公園の魅力を上させた。さらに、レンジャーが地元小学校の総合学習にプログラムを提供するなど、子供たちにとって自然とふれあう貴重な体験の場となっている。 ・滝山公園では、2種類の公園マップをリニューアルした。NPO団体との協働による「滝山城攻めマップ」は、八王子市開発のARアプリとも連動して解説を充実させた。公園を効果的にアピールし、利用を促進している。 ・大戸緑地では、地域団体等による公園懇談会のニーズに応え、プログラムを更に充実させて「あつまれ！森キッズ」を実施し、946人の参加者を得た。 	A
32	大戸緑地	A	<p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザインに対して高い意識を持つことで、印刷物やディスプレイが現場に即した楽しく美しくわかりやすいものとなっている。これにより、多くの市民がプログラムに参加したり、公園の自然環境を知ってもらったりすることにつながっている。 ・陵南公園では、地元自治体や地域関係者等と連携し、開園50周年記念イベント「こもれびピクニック」を開催した。夜には初めて「Ryonan Picnic Cinema」を実施するなど、参加してみたいと思わせる魅力的な企画により好評を得た。公園主催イベントとしては過去最高の5,633人が参加し、多くの人に公園の魅力や、公園への愛着や親しみを育んだ。また、市民の思いを形にし、地域の作家やアーティストと共に「春の日マルシェ」を初開催し、1,570人の参加者を得た。こうした様々な取組により、利用者のニーズに着実に応えている。 ・小宮公園では、「四季＊はなウィーク」を年4回開催し、「花めぐりワードラリー」や、新たに公園ボランティア「どんぐり会野草グループ」と協働で野草観察会も実施した。延べ1,755人の参加者に公園の豊かな自然を体感する機会を提供した。また、雑木林ホールを地域の環境教育拠点として大いに活用し、特別展では大型パネル展示や生体展示等を行ったほか、常設展では哺乳類の剥製を展示するなど、公園の魅力を上させた。さらに、レンジャーが地元小学校の総合学習にプログラムを提供するなど、子供たちにとって自然とふれあう貴重な体験の場となっている。 ・滝山公園では、2種類の公園マップをリニューアルした。NPO団体との協働による「滝山城攻めマップ」は、八王子市開発のARアプリとも連動して解説を充実させた。公園を効果的にアピールし、利用を促進している。 ・大戸緑地では、地域団体等による公園懇談会のニーズに応え、プログラムを更に充実させて「あつまれ！森キッズ」を実施し、946人の参加者を得た。 	A

グループ名	狭山丘陵グループ
指定管理者名	西武・狭山丘陵パートナーズ

No.	施設名	一次評価	二次評価（案）	
			評価内容	評価
33	狭山公園	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山や丘陵部に展開する、自然が多く面積も広い都市公園が抱える様々な課題を、産官学民共同で一つ一つ解決し成果を上げ続けている。特に、管理者のノウハウの蓄積により、ボランティアとの協働による公園の環境保全が定着しており、公園管理の参考事例として評価できる。 ・八国山緑地では、埋土種子実験により絶滅危惧種ヒメミクリ等の湿生植物の発芽を確認し、その結果等を踏まえ日照条件改善計画を作成した。 ・東大和公園では、アカマツやハルゼミの保全に継続的に取り組んだ。 ・野山北・六道山公園では、地域と協働し湿地再生を積極的に進め、絶滅危惧種トウキョウサンショウウオ等の産卵水域を維持創出したほか、継続的なモニタリング調査により希少植物の保全にも取り組んだ。 	A
34	八国山緑地	A	<ul style="list-style-type: none"> ・狭山公園では、台風24号による倒木被害への対応が迅速に行われず、安全性への配慮が十分でなかった。安全性を考慮した施設管理に努められたい。 ・狭山公園では、倒木処理中の園路を視認性の低い鉄ピンとロープで封鎖し、夜間来園者がロープにつまづき転倒し骨折する第三者事故があった。事故後は、規制帯設置マニュアル等の作成やパトロール時のチェック事項の再確認などを行った。作成したマニュアルを日頃から活用し、再発防止を徹底されたい。また、スタッフが休務日に管理所前の身体障害者用駐車場に駐車し喫煙していたことが発覚した。様々な取組で成果を上げていても、ひとたびコンプライアンス違反があれば公の施設の管理者としての信頼を大きく失うことを十分に認識し、コンプライアンス向上に向けてより一層努力されたい。 	A
35	東大和公園	A	<p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都県境を越えた8団体18店舗と連携して「SAYAMA HILLS DAY」を継続開催し、過去最大の2,716人が参加するなど、地域の魅力発信と連携強化に取り組んだ。 ・狭山丘陵観光連携事業に参画し、地元市等との連携施策について積極的に提言した結果、次年度のイベントに6市町の協力を取り付けるなど、観光振興の推進に向けて自治体とのパートナーシップを強化した。 	A
36	野山北・六道山公園	S	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーペーパー「SAYAMA HILLS」は、扱いやすいサイズで内容も豊富であり、今後も充実を期待する。また、海外に向けたグループ公園の情報の発信として、英語版フリーペーパーの作成、中国語繁体字の公園パンフレットの作成、英語版ホームページの充実に取り組んだ。 ・野山北・六道山公園では、「田んぼ体験」や狭山茶の魅力を発信する「手もみ茶づくり」など、里山を活用した多彩なプログラムを展開し、公園の魅力発信や里山保全への理解促進につながった。また、公園ボランティアに様々な活動の場を提供し、里山保全や景観づくりに協働で取り組んでおり、里山の原風景を現代に再現しつつある。手引きや活動のしおりも整っており、ボランティアによる活動が更に広がることを期待する。さらに、開園30周年記念イベントとして、地元NPOや地域団体等と新たに連携し、「木とともにある暮らしイベント」を実施した。また、スタンプラリーのポイントにリサイクルセンターを組み込み情報発信するなど工夫し、園内施設の認知度向上と公園の利用促進につながった。 	S
37	中藤公園	A		A

グループ名	多摩丘陵グループ
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価（案）	
			評価内容	評価
38	長沼公園	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続した希少種の保全とモニタリング調査を丘陵地ボランティアや関係機関等と連携しながら進めており、各公園で希少動植物（キンラン、カタクリ、センブリ、ゲンジボタル、トンボ類、オオムラサキほか）の保全管理計画を見直しながら、生育環境の保全、個体数の回復につなげている。今後は環境学習の機会提供などを通じて地域資源として地域の活性化に寄与する仕掛けをさらに増やされたい。 ・桜ヶ丘公園では、近隣住民から、庭先の園地がタヌキの「ためふん場」になって困っているとの相談を受け、丘陵地レンジャーがタヌキの行動ルートを調査しふん場の移動を試みた結果成功し、住民の要望に的確に対応することができた。また、地域防災訓練において、新たに多摩市中央警察や市社会福祉協議会の協力を得て、車いすでの避難訓練も行うなど、実践的な訓練を行い、参加者も昨年の20%増の102人となった。 	A
39	平山城址公園	A	<p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小山田緑地では、1年間を通して行われる地域（小学校、PTA、青少年健全育成会、農業委員）と協働した田んぼの活動と収穫祭（第16回里山まつり）において、昨年度を14%上回る1,593人が参加し、地域教育の場として、地域と子どもたちとの交流の輪を更に広げることができた。活動の拠点施設ができればこのような活動がさらに豊かになると考える。また、スタッフによるコーディネート成果により、地域団体などの協力のもと、子供の遊びに関するプログラムを夏休みに14日間連続で提供する「里山のびのびスポーツデー」（キッズイベントデー）を開催した。熱中症や安全管理に万全を期し、多くの利用者が参加することで、今後の利用者サービス向上のための新たな可能性を創出した。さらに、個人、団体を問わず散策に行きたいという問い合わせが非常に増えており、生き物のことを考慮して丁寧に丘陵地公園の特性を生かした管理をしてきた成果が表れてきている。 ・小山内裏公園では、「小山内裏公園多摩丘陵さくらまつり」や「南大沢さくらフェスタ」等の昔遊びや自然遊びを盛り込んだ地域連携イベントを実施し、2日間合計で4,300人の参加者を記録するなど、公園の賑わいを創出することができた。また、サンクチュアリのガイドウォークに新たに水辺ビオトープサンクチュアリのコースを加えたほか、サンクチュアリの動植物や保全作業に関するパネル展示も行い、サンクチュアリの魅力を伝えた。さらに、周辺大学に働きかけ、「チャレンジ防災」の運営に5大学30人の学生の参加協力を得ることができた。 	A
40	小山田緑地	A		A
41	小山内裏公園	A+		A+
42	桜ヶ丘公園	A+		A+

グループ名	大神山公園
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価（案）	
			評価内容	評価
43	大神山公園	A+	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物管理実績の向上や各種広報ツールの効果により、小笠原観光客と島民の双方に大神山公園が認知されてきている。更なる努力を期待する。 ・職員自ら樹木に関する資格及び知識の習得を行い、その経験や知識を毎日の巡視及び年間5回の樹木点検に生かした結果、枯枝や枯損木の早期発見につながった。また、台風時期前に予防的な樹木管理を行った結果、台風後における枯枝や倒木の発生を防ぐことができた。 ・地元企業と連携し、タコノキの葉をチップ化することで、マルチング利用するなど、これまでの廃棄物を資源として活用したことが評価できる。 ・おもてなし花壇の改善など、小笠原の固有種などを観察できるミニフィールドとしての機能を高めた。また、固有植物の試験植栽や外来生物の駆除など地域との連携による地道で着実な取組も評価できる。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツイッターに情報を平日毎日投稿し、大神山公園の最新情報を発信した。小笠原観光の際によく利用されるサイトへバナーを掲載したほか、小笠原村観光局ホームページに記事を投稿するなど、様々な団体と連携し集客に努めた結果、ツイッター閲覧件数が2.5倍（26万件から66万件へ）、ホームページ表示回数が1.5倍（10,970回から16,501回）となり、返還50周年という事情を加味しても情報発信力の向上が見られる。時間を要するため行きたくてもなかなか行けない遠い「東京」である小笠原の魅力の発信を今後も継続されたい。 ・平成30年度は小笠原諸島返還50周年の年であり、都や村等主催の各種行事に合わせて、樹木剪定や清掃美化等の維持管理を徹底し、都からの要請に積極的に協力した。 	A+

グループ名	青山葬儀所
指定管理者名	日比谷花壇グループ

No.	施設名	一次評価	二次評価（案）	
			評価内容	評価
44	青山葬儀所	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場にLED照明を増設し、利用者の安全確保を行った。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「フューネラルビジネスフェア2018」や「エンディング産業展2018」へブースを出展した。特に「エンディング産業展2018」では青山葬儀所長による施設の利活用事例の紹介セミナーを実施するなど、利用促進を図った。 ・ 平成30年度から開始した延長料金制度を積極的に広報し、9件延べ12時間（1,294千円）の利用の増加につながった。種々の利用促進努力により、前年度に比較し利用件数が増加したことは評価する。 ・ 葬儀社へのアンケートや訪問営業等の際にあった要望に優先順位を付け、メモリアル壁面ボード、インタビューボード、集合写真ボード、プロジェクターとスクリーンの増設等を行い、サービス向上を図った。視覚に訴える仕掛けは弔問者にとって感慨深いものであり、効果的な取組である。 ・ 利用時間に重複のないよう葬儀社間の調整を図り、利用者の希望に沿った受入れを行った。 	A+

グループ名	防災公園グループ
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価（案）	
			評価内容	評価
45	東白鬚公園	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模救出救助活動拠点の機能を発揮するため、勤務時間内、早朝、夜間と発災想定を変えた年3回の全体訓練を実施。車椅子避難誘導やIP無線による写真送信などの新たな内容を加え、東京都現地機動班との連携確認想定訓練を行った。各公園では、近隣の施設・団体に防災訓練の参加を働きかけ、グループ全公園で300を超える団体との訓練を実施した。 ・代々木公園では、毎週開催されるイベントや屋台営業について、占用許可条件の遵守の徹底等、許可受者への適切な指導を行い、園地の適正利用に努めた。 ・葛西臨海公園では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、観客の通行が想定される最寄駅から競技会場までのルートに関して、先行した剪定等の手入れを実施した。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連工事により、園内の状況が変化していく中で、利用者の安全確保と利用制限の最小化を適切に実施した。さらに、ゴールデンウィークの多客時に第2駐車場が使用できない状況の中、関係機関との事前協議や公共交通機関利用のお願い、当日の混雑状況の発信などの工夫により、混乱なく運営できた点は評価できる。 ・武蔵野の森公園では、ふるさとの丘など園内が整然と整備されており、開放的でのびのびとした美しい景観を作っている。今後も継続的に適切な景観の維持管理を実施されたい。 ・代々木公園では、利用者の多い園路の脇等でユリノキやサクラの倒木が発生した。安全性を考慮した施設管理を徹底されたい。 ・小金井公園では、委託業者がエンジンをかけたまま草刈り機を地面に置き、自分の足を切る事故が発生した。再発防止を徹底されたい。（事故後は、委託業者への指導を強化した。） <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災公園グループにおいては、大規模救出救助活動拠点・避難場所として諸々の備えを実施するだけでなく、東京を代表する大規模公園としての魅力アップにも取り組まれてきた旨、これまで提言がされてきた。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機にいくつかの公園において新しい取組がみられたことは評価できる。 ・東白鬚公園と汐入公園が連携して実施した「みんなの防災まつり」では、参加型の多彩な防災体験プログラムの提供や、墨田緊急船着場を使用した物資積込訓練等を行った。また、広報活動を強化したことで参加者数が1,440人に増加し、連携先が3団体増えた。地域住民の防災意識の向上と地域の自助・共助力の向上に貢献した。 ・木場公園では、警察、消防、地元区等と連携し、「わんぱく防災フェスタ」を開催した。防災釣りゲーム等の新規イベントを企画・実施した結果、2,000人を超える参加者数を記録することができた。来園者が楽しみながら、学ぶことのできる様々な防災普及プログラムにより、公園の賑わいを創出した。また、3月の美術館リニューアルオープンを前に、気軽にアートを楽しめる「遊べるアート展」を開催し、約800人の参加があった。今後も、美術館との連携により、アートを楽しめる公園づくりを進められたい。 ・砧公園では、クロスカントリー・イベント「キヌクロ」を初開催し、新たな公園需要の創出及び魅力向上を図った。また、近隣大学の学生と連携し「青空コンサート」を開催し、公園をアートの場として提供することで、利用者の満足度向上を図った。 ・駒沢オリンピック公園では、これまで夜のイベントとして定着しているキャンドルイベントを、地域の多様な主体が連携協力した「駒沢ファンタジア」としてパワーアップさせ、昼夜問わず公園を舞台とした地域文化の育成が図られている。特に今年はその利益を公園や地域に還元するファーマーズマーケットを盛り込み、イベント自体の魅力もアップし、都民にとって二重のメリットのある取組が実現した。参加によるマルシェ的な企画は、特に都心の公園においてはニーズが高いと思われるので、ぜひ他の公園にも広げられたい。 ・代々木公園では、スポーツイベント「代々木公園スポーツフェスタ2018」を実施し、発達障害のある人でも楽しめる独自プログラムを取り入れるなど工夫を行った。また、例年地元商店街と連携して実施しているイルミネーションイベント「青の洞窟」では、コンサートの実施やデジタルサイネージによる公園のPRなどイルミネーション以外の新たなコンテンツを追加し、公園の魅力向上に努めた。 ・城北中央公園では、例年開催している「防災デイキャンプ」と「防災施設体験イベント」を統合し、新たに「防災施設体験フェスタ」として実施した。地元区や消防署等への積極的な働きかけを行い、起震車や煙ハウス体験などの新しいコンテンツを用意し、公園利用者の防災意識の向上と地域の相互共助を促進する環境の醸成を図った。 ・舎人公園では、千本桜まつりにおいて、周辺地域を中心に募った出演者によるコンサートステージを実施し、来園者数が前年度比で6%増加し216,000人が参加した。 ふれあいフェスティバルでは、広報活動に力を入れた結果、55,000人の来場者数を記録し、地域の賑わいを創出することができた。 ・篠崎公園では、アジサイ祭りにおいて、新聞やラジオなどメディアを活用した効果的な広報活動を行った結果、昨年度の倍以上となる約500人が来場し、自然豊かな公園の魅力をアピールすることができた。 ・葛西臨海公園では、「サマーフェスティバル」において、新たに水消火器体験を取り入れるなど幅広い層の来園者が楽しみながら防災や生き物との触れ合いを体験できるように努め、昨年度より4,000人多い27,000人が来園し、公園の利用促進を図ることができた。 ・武蔵野の森公園では、地元市、消防署、町会、近隣企業、学校等と連携した防災訓練を実施するなど、地元住民との連携を強化した。また、「のびのび親子館」では、小学校中学年以上にも魅力ある仕掛けやプログラムを展開し、館内外を併用したゴールデンウィーク企画や「夕涼みフェスタ」などを実施するなど、昨年度の20倍を超える参加者数を記録した。 	A
46	木場公園	A		A
47	砧公園	A		A
48	駒沢オリンピック公園	A		A
49	代々木公園	A		A
50	善福寺川緑地	A		A
51	和田堀公園	A		A
52	汐入公園	A		A
53	城北中央公園	A		A
54	光が丘公園	A		A
55	舎人公園	A		A
56	水元公園	A		A
57	篠崎公園	A		A
58	葛西臨海公園	S		S
59	武蔵野中央公園	A		A
60	府中の森公園	A		A
61	武蔵野の森公園	A+	A+	

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
62	小金井公園	A	<p>・東村山中央公園では、公園が主体となって隣接する都立高校や東村山市を中心とした演奏グループへ交渉し初となる野外コンサートを実施した。700人の来場者数を記録するなど、公園の新たな魅力を創出するとともに、地域連携の輪を広げることができた。</p> <p>・東大和南公園では、ボランティアとの連携イベント「キッズコミュニティー」の内容を充実させ、昔遊びなど普段できない遊び体験を提供した結果、集客が通常40～60人のところ、280人という過去最高の参加者を記録するなど、公園の利用促進を図った。</p> <p>・秋留台公園では、春のローズフェスタの開催期間を昨年度より9日間延ばして開催した。広報強化により春夏のイベントで4,500人の集客数を記録し、周辺地域への公園の魅力発信とイベントの認知度向上を図った。また、「ユニバーサルスポーツ祭」では、年齢や性別、障害の有無に関わらずスポーツを楽しむ環境を継続して提供した。関係団体や周辺自治体との連携を強化・拡大しており、今後の展開に期待できる。</p>	A
63	東村山中央公園	A		A
64	東大和南公園	A		A
65	秋留台公園	A+		A+

グループ名	文化財庭園グループ
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価（案）	
			評価内容	評価
66	浜離宮恩賜庭園	S	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保全管理計画及び史資料に基づき、庭園有識者に諮りながら、池の護岸の補修、樹木の間引きや芝張などの地道な修景といった毎年の管理の積み重ねにより、庭園毎の特性を活かした景観づくりを進めている。 ・浜離宮恩賜庭園では、経年劣化が見受けられた鴨場について、庭園観賞の支障を抑えるため、平成28年度から1年ごとに場所を変え、工法の改善も行いながら、今年度補修を完了させた。合わせて、ロープ柵線形の見直し、多言語制札版の設置による崩落等の未然防止策のほか、往時の鴨猟を伝える「叉手網」を作成展示するなど、貴重な遺構の魅力を高めた。その他、旧芝離宮庭園における「大島」の古図面にある園路線形へ復旧や護岸修復、小石川後楽園における「田園の景」にふさわしいマツの間引き、六義園における「藤代峠」の魅力向上のための古典品種ツツジの補植や「時雨岡」の補修による「大泉水」の景観向上、向島百花園における記録写真に基づく池畔の木杭の補修や菖蒲田の土壌改良、清澄庭園における「富士山」の景観改善、旧古河庭園における枯滝、州浜のグリ石の景観修復や花壇縁取りの生垣肥大化に対する全生垣の2/3の大幅な植替え、殿ヶ谷戸庭園における国分寺崖線の稜線を見せるための肥大化した低木類の整理・移植など、庭園景観の向上が図られた。 	S
67	旧芝離宮恩賜庭園	A	<ul style="list-style-type: none"> ・浜離宮恩賜庭園において芳梅亭の軒下の壁板が落下し、縁側にいた利用者にあたる事故が発生した。再発防止を徹底されたい。（事故後は、落下の可能性のあるものについて触診・打診を行った。事故発生時、速やかに対応し、利用者へも真摯に対応した。） ・旧芝離宮恩賜庭園では、現在利用されていないハンドホールが固定されておらず、付近を歩いていた利用者の足が30センチ程度穴に落ちる事故が発生した。再発防止を徹底されたい。（事故後は、点検時に蓋を外して受枠を点検するなど点検方法を見直し、不具合を発見した際には速やかに補修を行っている。） 	A
68	小石川後楽園	A	<ul style="list-style-type: none"> ・旧芝離宮恩賜庭園では、現在利用されていないハンドホールが固定されておらず、付近を歩いていた利用者の足が30センチ程度穴に落ちる事故が発生した。再発防止を徹底されたい。（事故後は、点検時に蓋を外して受枠を点検するなど点検方法を見直し、不具合を発見した際には速やかに補修を行っている。） 	A
69	六義園	A+	<p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本庭園の独特のしつらえと、その意味を伝える工夫を一体的に考えており、施設の魅力を感じてもらえるような文化体験プログラムの創意工夫を行い、江戸庭園文化の発信に向けて積極的に取り組んだ点が評価できる。 	A+
70	旧岩崎邸庭園	A	<ul style="list-style-type: none"> ・浜離宮恩賜庭園では、「東京大茶会」における「着付け体験」や「歌舞伎メイク体験」、「鷹の御茶屋」「松の御茶屋」「燕の御茶屋」を活用した「御茶屋ガイドツアー」、「東京150年記念イベント」における「浜離宮で知る、楽しむ！東京150年」等のイベントを実施し、日本文化の発信や庭園の魅力向上を図った。また、満足度調査結果はいずれの項目も極めて満足度が高く、維持管理、接遇などの質の高さを示している。 ・旧芝離宮恩賜庭園で実施した「芝離宮夜会」において、予定(2,000名)を大きく上回る約1万人の来園者数を記録した。周辺の企業との繋がりを深め、地域連携の促進を図るなど、新しい庭園利用形態を示した好例であり高く評価できる。 ・小石川後楽園では、「深山紅葉を楽しむ」において、紅葉観賞に合わせて伝統芸能公演を開催し、「里神楽」「雅楽」に新たに「能楽」を加えてイベント内容を充実させた結果、「能楽」の参加者数が過去最大となり、期間中の来園者数が目標の4万人に対し5万人を超え25%以上の増加となった。 	A
71	向島百花園	A	<ul style="list-style-type: none"> ・六義園では「夏の六義園」において、積極的に英語クイズ問題コースを来園外国人に勧めた結果、外国人の参加者数が倍以上になった。また、「秋の六義園～日本文化に親しむ」では、英語や中国語のスタッフを配置し、海外からの来園者への対応を行い、日本文化の発信、庭園の魅力向上に取り組んだ。 	A
72	清澄庭園	A+	<ul style="list-style-type: none"> ・清澄庭園では、「花菖蒲と遊ぶ」において、積極的な広報活動を行った結果、特別ガイドの参加者数が対前年度比123%となった。また、新たな取組として琴の演奏会等を実施したことで、期間中の来園者数が11,000人を超えた。積極的な広報活動とイベント内容の工夫により、公園の利用促進を図ることができた。 	A+
73	旧古河庭園	A	<ul style="list-style-type: none"> ・旧古河庭園では、旧古河庭園100年記念事業として近隣の文化施設等31団体との関係を構築し、お互いの施設の回遊性を高めるイベントや企画展等を企画したことで、今後の地域連携の礎を築くことができた。 ・殿ヶ谷戸庭園では、庭園ガイドボランティアによる庭園ガイドを熱中症が心配された8月を除く毎月土日祝日に実施し、延べ2,497人に庭園の魅力や歴史についてガイドを行った。 	A
74	殿ヶ谷戸庭園	A		A

グループ名	神代植物公園
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価（案）	
			評価内容	評価
75	神代植物公園	A+	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内屈指の植物園であることを自覚し、引き続き研究に裏打ちされた貴重な成果を内外に発信し続けるとともに、公園利用者各層に応じた内容を分かりやすく伝えるための努力を期待したい。 ・植物多様性センターで実施している絶滅危惧植物の保護増殖事業において、無菌培養等の高等技術を駆使することで、コウズエビネやナツエビネをはじめとした絶滅の危機に瀕している希少植物の生息域外保全を可能にするなど、都のみならず国内の植物多様性保全に大きく貢献した。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園で策定した雑木林更新計画に基づき、選択除草や笹刈りなど、武蔵野の面影を残す雑木林の保全活動を、ボランティア参加型で開始した。 ・テレビ番組への職員の出演及び解説、園芸書籍への掲載や国立科学博物館からの技術支援依頼を受けるなど、積極的に広報を行った結果、植物公園の知名度が向上した。 ・保有する江戸園芸植物サクラソウ293種がナショナルコレクションの認定を受け、全国レベルでのステータスを高めるとともに、それに伴う展示会や講演会もマスメディアに取り上げられるなど展示の充実につながった。また、江戸時代の園芸文化を伝える多様な展示、情報発信についても展開し、多くの方に植物の歴史に興味をもってもらえるよう取り組まれた。 ・高い栽培技術や知見の成果として、実が付きにくいヒスイカズラの人工授粉やペコニアの品種改良を成功させ、より魅力的な展示を行うことができた。 ・アニメとのコラボイベントでは、若いスタッフのアイデアを企画に取り入れたことで、親しみやすい企画が生まれた。これは人材育成としても効果があり評価できる。 ・前年度から実施している大温室のナイトツアーに加え、新たに夜の昆虫観察会を夏休みに開催した。また、国立天文台やNPO法人と連携した天体観測会など、地元他団体とコラボした新たな企画を実施し公園の可能性を広げることで、新たな魅力を創出するとともに、夜間利用の拡大やファン層の新規獲得に取り組んだ。今後は近隣施設との連携など更なる工夫をして公園の魅力を高められたい。 	A+

グループ名	夢の島公園・夢の島熱帯植物館
指定管理者名	アメニス夢の島グループ

No.	施設名	一次評価	二次評価（案）	
			評価内容	評価
76	夢の島公園	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢の島熱帯植物館では、歳入徴収事務において、収納金の指定金融機関への払込みの遅れなどが見受けられた。事務処理の適正化に努められたい。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢の島公園では、東京2020大会への機運醸成の一環として、アーチェリー会場予定地に隣接した芝生広場に新たに夏花壇を設け、一般ボランティアや近隣企業・施設と協働で根付けを実施した。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、花壇の充実や参加者の拡大など更なる展開を期待する。また、夏花壇は大会後もレガシーになるため、取組を継続されたい。 ・11月に実施したアーチェリー体験では、機材やスタッフについて江東区競技場の協力を得て、地域連携を強化した。 ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会工事により、園内の状況が変化していく中で、例年実施しているイベントについて、代替地を確保し内容を変更して実施した。工事の工程管理と利用者の安全管理が求められる状況下で、利用促進に努めた。 ・夢の島熱帯植物館では、開館30周年記念誌を編纂し記念展示を企画した。最寄りの新木場駅と連携し、植物館の看板やチラシを設置した。また、駅構内に正月装飾をデザイン・展示し、積極的な情報発信を行うことで利用を促進した。 地域の小学校で特別出張授業を実施し家族向けの案内も配布することで、来館促進につなげた。また、ボランティアと協力し年5回実施した「夜間開館特別ガイド」では、毎回の参加者数が予定を上回り、多くの参加者に普及啓発を行った。 	A
77	夢の島熱帯植物館	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢の島熱帯植物館では、歳入徴収事務において、収納金の指定金融機関への払込みの遅れなどが見受けられた。事務処理の適正化に努められたい。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢の島公園では、東京2020大会への機運醸成の一環として、アーチェリー会場予定地に隣接した芝生広場に新たに夏花壇を設け、一般ボランティアや近隣企業・施設と協働で根付けを実施した。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、花壇の充実や参加者の拡大など更なる展開を期待する。また、夏花壇は大会後もレガシーになるため、取組を継続されたい。 ・11月に実施したアーチェリー体験では、機材やスタッフについて江東区競技場の協力を得て、地域連携を強化した。 ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会工事により、園内の状況が変化していく中で、例年実施しているイベントについて、代替地を確保し内容を変更して実施した。工事の工程管理と利用者の安全管理が求められる状況下で、利用促進に努めた。 ・夢の島熱帯植物館では、開館30周年記念誌を編纂し記念展示を企画した。最寄りの新木場駅と連携し、植物館の看板やチラシを設置した。また、駅構内に正月装飾をデザイン・展示し、積極的な情報発信を行うことで利用を促進した。 地域の小学校で特別出張授業を実施し家族向けの案内も配布することで、来館促進につなげた。また、ボランティアと協力し年5回実施した「夜間開館特別ガイド」では、毎回の参加者数が予定を上回り、多くの参加者に普及啓発を行った。 	A

グループ名	潮風公園・台場公園
指定管理者名	東京臨海副都心グループ

No.	施設名	一次評価	二次評価（案）	
			評価内容	評価
78	潮風公園	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潮風公園では、園地改修工事や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会会場整備工事について、都や施工業者との綿密な調整や現場立会い等に積極的に協力するとともに、工事の進捗に応じて、工事看板や公園マップの修正、バリアフリーマップの見直しや園内掲示及びHP掲載を実施し、公園利用者の利便性向上に努めた。 ・潮風公園では、歳入徴収事務において、現金出納簿への記帳の誤りが見受けられた。事務処理の適正化に努められたい。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潮風公園では、地域の保育園と協力し、児童による植栽体験を行うなど、自然との共生について理解を深める機会を提供するとともに、地域連携を促進した。 ・台場公園では、「東京文化財ウィーク」において、簡易な電灯で試行的に夜間ライトアップを実施し利用促進を図った結果、夜間の往来が容易となり、昨年度比13%増の来園者数となった。また、「東京文化財ウィーク」の公開事業への参加を機に、ポスターの掲示や絵葉書の配布により台場公園の歴史・史跡を写真や地図で紹介したほか、品川歴史館やフジテレビジョン協力のもと、台場の歴史を紹介するパネルを新たに作成し、既存のマリンハウスに加え海上バス乗り場の待合所内にも展示して、多くの都民に文化財に触れる機会を提供した。（公財）日本城郭協会の続100名城スタンプラリーへの協力など、台場という史跡をより広くPRする取組を一層進められたい。 ・旅行口コミサイトやポケットの活用などによる、台場公園の新たな可能性に向け、今後の対応に期待したい。 	A
79	台場公園	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潮風公園では、園地改修工事や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会会場整備工事について、都や施工業者との綿密な調整や現場立会い等に積極的に協力するとともに、工事の進捗に応じて、工事看板や公園マップの修正、バリアフリーマップの見直しや園内掲示及びHP掲載を実施し、公園利用者の利便性向上に努めた。 ・潮風公園では、歳入徴収事務において、現金出納簿への記帳の誤りが見受けられた。事務処理の適正化に努められたい。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潮風公園では、地域の保育園と協力し、児童による植栽体験を行うなど、自然との共生について理解を深める機会を提供するとともに、地域連携を促進した。 ・台場公園では、「東京文化財ウィーク」において、簡易な電灯で試行的に夜間ライトアップを実施し利用促進を図った結果、夜間の往来が容易となり、昨年度比13%増の来園者数となった。また、「東京文化財ウィーク」の公開事業への参加を機に、ポスターの掲示や絵葉書の配布により台場公園の歴史・史跡を写真や地図で紹介したほか、品川歴史館やフジテレビジョン協力のもと、台場の歴史を紹介するパネルを新たに作成し、既存のマリンハウスに加え海上バス乗り場の待合所内にも展示して、多くの都民に文化財に触れる機会を提供した。（公財）日本城郭協会の続100名城スタンプラリーへの協力など、台場という史跡をより広くPRする取組を一層進められたい。 ・旅行口コミサイトやポケットの活用などによる、台場公園の新たな可能性に向け、今後の対応に期待したい。 	A

グループ名	横網町公園
指定管理者名	公益財団法人東京都慰霊協会

No.	施設名	一次評価	二次評価（案）	
			評価内容	評価
80	横網町公園	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本庭園のマツの雪吊りや苗木の補植など、慰霊の場にふさわしい空間づくりを進めたほか、季節の花や風物の展示演出による「和の空間づくり」を行った。 ・歳入徴収事務において、収納金の指定金融機関への払込みの遅れが見受けられた。事務処理の適正化に努められたい。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの活用や近隣観光施設等へのチラシ配布のほかに、これまでに寄進をいただいた約6,000名の方々へ、毎年2回、各種イベント等の案内をするため「公園だより」を送付し、公園の周知及び来園者の増加に寄与した。 ・標準ガイドマニュアルや小学校低学年向けマニュアルを活用した案内ガイドの充実、職員間でのガイド記録の共有により、ガイドの質の向上に努めた。さらに、外国人や聴覚障害者にも鑑賞してもらえるようビデオに英文・和文のテロップを入れ案内を充実させ、幅広い層の来園者に対し震災や戦災の状況等を伝えることができた。 ・広報活動の成果が外国人観光客を含め新しい利用者の発掘につながっている。職員の意識向上など相乗効果も見られる。 ・「まちあるきガイドツアー」は、公園から外に出る新たな試みとして評価できる。震災や戦災を教訓として後世に引き継ぐことは、今まさに重要になっており、こうした使命のある公園としての取組をさらに進められたい。 	A

グループ名	東京臨海広域防災公園
指定管理者名	西武造園(株)・(株)NHKアート共同体

No.	施設名	一次評価	二次評価（案）	
			評価内容	評価
81	東京臨海広域防災公園	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ等での排他独占的な利用に対し、公園の利用ルールを丁寧に説明するなど、利用者の理解や協力を得ながら園地を適正に管理した。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅の増加など周辺地域の環境が急激に変化する中、隣接する国営公園との一体的な管理運営において限られたフィールドで最大限努力し、ジャーマンアイリス花壇やチューリップ花壇を拡充したほか、植え付け時期をずらしてひまわりの見ごろの期間を広げるなど、花を楽しめる公園づくりを更に進めている。また、「みんなで公園に花を咲かそうプロジェクト」をはじめ、多くの市民参加による花壇デザインも魅力的であり、参加者、来園者の満足度がともに高い取組となっている。更なる公園の可能性を発掘されたい。 ・例年防災週間に合わせて開催している「ぼうさいモーターショー」では、関係機関の協力により日常では触れることのできない防災関係車両を展示するなど、大人から子供まで幅広い年齢層に向けて防災意識の向上を行うとともに、当公園の発災時における役割の普及啓発に努めた。関西地方の気象災害等の支援のため、事前調整を進めていた一部の展示車両が急きよ不参加となったが、民間防災支援事業者2社に加え、新規出展誘致を行っていた新たな公共団体の協力を得たことから、影響なく実施することができた。また、情報サイトへの広報を積極的に行った結果、新規来場者の獲得につながった。公園の特徴を生かしたイベントが定着してきている。 ・固く受け取られがちな防災啓蒙活動を、「ぼうさい運動会」などとネーミングを工夫し、身近に感じられ参加しやすいよう企画している。 ・遊具のない園地において子供たちへ遊び場を提供できるよう、前年度よりも回数を増やして定期的にプレイパークを実施し、子供たちに日本の伝統的な遊びに触れるきっかけ作りを行うとともに、親子での公園利用の促進を図った。 	A

グループ名	都立動物園
指定管理者名	公益財団法人東京動物園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価（案）	
			評価内容	評価
82	恩賜上野動物園	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャイアントパンダの繁殖、展示開始もあり、入園者数が2年連続で増加し、25年ぶりに4園合計800万人を超えたことは関係者の努力によるものと評価する。とりわけ、職員の士気に大きく影響すると思われる。しかしながら、恩賜上野動物園のジャイアントパンダ人気に負うところが大きいことを肝に銘じ、他園を含めた総合的な取組を推進されたい。また、入園者数が増加する中、恩賜上野動物園では平成30年6月からジャイアントパンダ観覧に先着順を導入し、効率的に実施したほか、観覧者の暑熱対策を行うなど、観覧方法や環境について常に改善に努めた。 ・恩賜上野動物園及び葛西臨海水族園では、歳入徴収事務において、年度の記載の誤りなどが見受けられた。事務処理の適正化に努められたい。 ・恩賜上野動物園、多摩動物公園及び葛西臨海水族園では、昨年度に引き続き庁有車等による事故が多発した。特に、恩賜上野動物園で発生したターレー事故は作業員が重傷を負う大きな事故であった。管理体制が不十分であるといえる。再発防止を徹底されたい。（事故後は、各園で安全運転講習会の実施等、対策を講じている。） ・恩賜上野動物園では、外部委託によるジャイアントパンダ抽選観覧券の発送において、印刷ミスによる個人情報の流出事故が発生した。コンプライアンス体制の不備であり、再発防止を徹底されたい。（個人情報を取り扱う委託業務に関して、仕様においてダブルチェックの義務を規定するとともに、業務状況の監査を行うことをルール化した。） 	A
83	多摩動物公園	A	<p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示をより魅力的に伝えるための工夫が施設や印刷物のデザインに施されており、施設のエンターテインメント性を高めている。また、生き物の魅力や面白さを生かした企画のノウハウが積み上げられており、特に真夏の夜の動物園など魅力的な企画が実施されている。さらに、各園において、障害のある子供たちとその家族を招待するドリームデイやドリームナイトを展開し、好評を得ている。ニーズが高いため、今後も継続されたい。 ・恩賜上野動物園では、環境省、日本動物園水族館協会、大学研究機関等と連携し、ライチョウ、イボイモリの繁殖に成功した。また、昨年度末に出生したアイアイが順調に生育し計11頭となり、動物園では世界トップの飼育数を保持している。国内外の動物園との連携や先駆的技術の導入などにより、野生生物の保全や希少動物の繁殖に積極的に取り組み、貢献している。また、都の事業に協力し、カップバッジ復刻記念「東京150年特別企画」として、休園日に恩賜上野動物園プレミアムチケットによるジャイアントパンダ特別観覧を実施した。 ・多摩動物公園では、ボルネオオランウータン、チーター、レッサーパンダ、キリン、トキ、ニホンコウノトリ等の希少動物を順調に繁殖させた。繁殖したトキ8羽を佐渡トキ保護センターへ送り、域外保全の成果として佐渡トキ野生復帰10周年記念式典が開催されるに至った。オガサワラジミは第13世代のふ化に成功し、分散飼育のための技術指導や小笠原自然保護官事務所からの現場視察受入れなど、技術的貢献を行った。また、開園60周年を記念し、京王電鉄株式会社との協力を得てスペシャル電車を運行したほか、6月から毎月「月間動物」イベントを行うなど、延べ43のイベントを企画・開催し、来園者の誘致に努めた。 	A
84	葛西臨海水族園	A	<ul style="list-style-type: none"> ・葛西臨海水族園では、ラムサール条約湿地登録に向けた葛西海浜公園海域保全活用協議会（港湾局所管）へ職員の派遣等を行い、干潟に生息する生物に関する知見を共有するなど、都の施策に積極的に協力した。また、国立研究開発法人水産研究・教育機構との協定締結、モナコ海洋博物館への職員派遣など、関係機関との連携等により飼育技術の底上げを図っている。 	A+
85	井の頭自然文化園	A	<ul style="list-style-type: none"> さらに、移動水族館事業を継続実施した。特別支援学校等を中心に様々な施設に精力的に出張してサービスを提供し、延べ15,039人の参加を得ることができた。新たな取組として、ろう学校向けの解説パネルをクイズ形式に改良するなど、対象者に合わせ実施内容を改善している。 ・井の頭自然文化園では、動物展示以外の彫刻館、資料館などの施設も積極的に活用し、来園者に多様な文化を楽しむ機会を提供している。今年度は、新たな試みとして秋に開園時間を3時間延長し、様々な企画を開催して好評を得た。また、当イベントの実施に合わせ、彫刻園パンフレットを一新し、彫刻館と彫刻家の北村西望氏について情報発信に努めたことは、アトリエの情報発信に効果的である。 	A

グループ名	都立霊園
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価（案）	
			評価内容	評価
86	青山霊園	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青山、谷中、雑司ヶ谷霊園では、雑草繁茂、樹木の越境等の荒れ墓所について、管理状況調査、是正依頼送付、その後の丁寧な対応など、墓所環境の改善に努めている。 ・インバウンド観光の対象となっている霊園では、竹垣等の伝統的な庭のしつらえを大事にした修景により、日本人の弔いの心を伝える風景となっている。 ・青山霊園では、法人墓所の返還交渉や未登録空地の把握と整備により、再貸付用地を拡大できた。 	A
87	谷中霊園	A	<ul style="list-style-type: none"> ・染井霊園では、車いすやベビーカー等の通行に配慮し、段差等が生じる敷石を撤去した上で舗装工事を行うことで、未舗装の園路をより安全で快適に通行できるようにした。 ・八柱霊園では、合葬埋蔵施設献花式の前日に台風24号が直撃したものの、式場及び式場動線の安全確保を行った結果、約400名の参列者に特に影響なく式を執り行うことができた。 ・八王子霊園では、芝墓地の景観維持のため、前年に対陰性・対雑草性・対踏圧性の芝生を導入し、順調な生育を見せている。 	A
88	雑司ヶ谷霊園	A	<ul style="list-style-type: none"> ・八柱霊園では、警備会社の担当者がシフト日を間違えたため、開門時間にもかかわらず園内3か所の門が開門されない事故が発生した。再発防止を徹底されたい。（事故後は、委託業者への指導を強化した。） ・多磨霊園の無縁墳墓調査整理業務において、墳墓者リストに誤って隣接墓所の埋葬者名を記載したことにより、無縁改葬予告立札が対象と異なる墓所に設置されてしまうという事故は、あってはならないミスである。同様のミスを起こさないための再発防止策を継続して実施されたい。また、委託業者の草刈り作業中の刈り払い機による飛石の事故は、同様の事故が別の公園で発生している。人身事故となった場合大けがを負うことも考えられ、原因分析と再発防止を徹底してもらいたい。 	A
89	染井霊園	A	<ul style="list-style-type: none"> ・小平霊園では、直営作業時に切枝をパワーカートで搬送中、はみ出た切枝が来園者の車両に接触する事故が発生した。再発防止を徹底されたい。（事故後は、作業に関するミーティング等をはじめとしたリスクマネジメントの徹底を図るよう注意喚起を行った。） 	A
90	八柱霊園	A	<p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの霊園で、利用者満足度調査の全項目で高水準という結果であり、特に接遇、事務手続きのわかりやすさは全公園で高水準である。霊園利用者に対するきめ細かい対応について評価できる。 ・谷中霊園では、文献に基づき、石碑の建立年や碑文の内容を解明した資料及び石碑ガイドマップを英語版でも作成した。また、谷中霊園案内図や竹垣マップの英語版について継続して窓口で配布するなど、多言語化対応による来園者の利便性向上を図った。 ・雑司ヶ谷霊園では、共通祭壇が崇祖堂大規模改修工事の影響で立ち入り禁止になったが、一時収蔵施設利用者の墓参環境を確保するべく、仮設祭壇の設置や霊園周辺駐車場の案内マップを作成するなど、工事による来園者の不便を軽減する取組を適切に行った結果、秋彼岸・春彼岸を混乱なく運営することができた。 	A
91	八王子霊園	A+	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子霊園では、熱中症を防止するための日傘・麦わら帽子の貸し出しや、らくらく墓参バス運行時の冷たいおしぼりのサービス、冬季のロビー早期開放などにより、利用者に対し快適な墓参環境を提供することができた。 	A+
92	多磨霊園	A	<ul style="list-style-type: none"> ・小平霊園では、芝生火災の危険性を数字で表せる芝生火災警戒レベル情報を製作し、巡回の目安として活用した。また、音声案内装置や大きな看板の設置により、効果的な注意喚起を行った。この試みは今後の活用に期待が持てる。更なるシステムの充実と他園への活用、普及を検討されたい。さらに、合葬埋蔵施設及び樹林型合葬埋蔵施設の利用者に対して、自ら取得した墓所に納骨するよう周りの人に周知できる「都立霊園使用者カード」の発行など、施設使用者に配慮した取組が評価できる。 	A
93	小平霊園	A		A

グループ名	瑞江葬儀所
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価（案）	
			評価内容	評価
94	瑞江葬儀所	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正な維持管理のもとで老朽化した施設を丁寧に修繕しながら、現在の火葬炉を30年以上にわたり、大きな問題なく稼働させ続けている点は評価できる。 ・火葬の際に発生する黒煙に関する苦情について、従来から実施している葬儀社への副葬品制限の注意喚起の徹底や、職員による火葬炉排気口モニターによる監視、近隣町会への対応状況説明の実施など、安定した火葬業務の実現に取り組んだ。 ・繊細な接遇が要求される業務において、お客様の心に寄り添い、地道な努力と質の高いサービスを実践したことにより、利用者満足度も前年を上回っている点は評価できる。 ・約1か月間、誤った領収日付印を押印した領収書を発行し、葬儀社約80社へ領収書の差し替え対応を行った。ひとたび事故が発生すると施設全体の印象が悪くなる。再発防止を徹底されたい。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会の実施や児童公園を利用した催事等への積極的な協力など、地元町会等との連携を図り、信頼関係醸成に努めた。また、小松川警察署と協議・現場確認を重ね、初めて所内で「テロ対処合同訓練」を共同実施した。「地域パートナーシップ」の企業や団体、区、消防、地元住民が参画し、地域との連携をより一層強化することができた。 	A